

●施策名

【施策2】子どもの健やかな体をはぐくみます

(関連指標：指標13～指標18 (P54))

- i 体力の向上に関する取組の充実
- ii 地域スポーツ団体に対する活動支援
- iii 地域のスポーツ団体による学校への協力・支援体制づくり
- iv 食育の推進
- v 健康教育の推進

●代表的な取組の進捗状況

i 体力の向上に関する取組の充実

- ・ 実践協力校の取組を基に、検証委員会で検討を重ね、本県独自の「運動身体づくりプログラム」を改訂するとともに、解説書、DVD及びCDを小学校に配布し、その活用を促しました。
このプログラムは、「運動感覚をバランスよく養うことができること」「8分程度で実施でき、主運動の時間を十分に確保できること」を条件に運動内容を厳選し、屋内11種類、屋外6種類の運動で再構成しています。



運動身体づくりプログラム

iii 地域のスポーツ団体による学校への協力・支援体制づくり

- ・ 地域スポーツ人材の活用実践支援事業として、外部指導者を部活動に68校（中学校40校、高等学校28校）、保健体育の授業における武道の指導等に52校派遣しました。

iv 食育の推進

- ・ 「わたしが作る朝ごはんコンテスト」開催
5回目の実施となり、年々応募数が増え、食に対する興味関心、朝ごはんを食べる意識が高まっています。

参加校 254小学校 (H24年度 227小学校)
参加作品数 4,647点 (H24年度 4,108点)



最優秀作品「夏野菜盛沢山リゾット」

●問題点・改善等が必要な項目

① 体力の向上に関する取組の充実

- ・ 体力の低下傾向を解消し体力向上を図る取組の充実。
- ・ 学校・家庭・地域が一体となった運動環境づくりと運動習慣の形成。

② 健康教育の推進

- ・ 生活習慣の乱れ等による肥満を含めた子どもの健康課題の解決を図る健康教育の充実。

●取組の方向性

① 体力の向上に関する取組の充実

- ・ 学校体育を一層充実するとともに、家庭や地域との連携を図り、運動の機会を確保し、運動習慣を確立します。

② 健康教育の推進

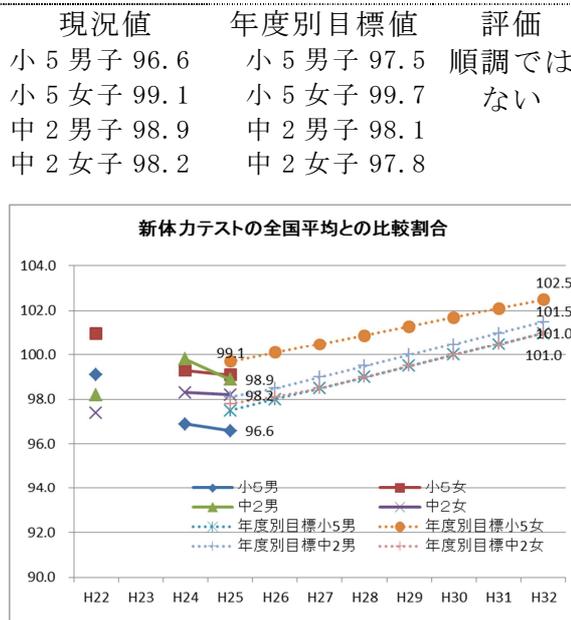
- ・ 学校や家庭、地域及び関係機関との連携を図った組織的、継続的な健康教育を推進します。
- ・ 学校や家庭、地域及び関係機関と連携して望ましい食習慣の形成と、食に関する適切な判断力を育成するための食育を推進します。

●主な指標の状況

・指標 1

全国体力・運動能力、運動習慣等調査における新体力テストの全国平均と比較割合（公立小・中学校）

※H23 は震災により調査は行っていない



①評価の理由

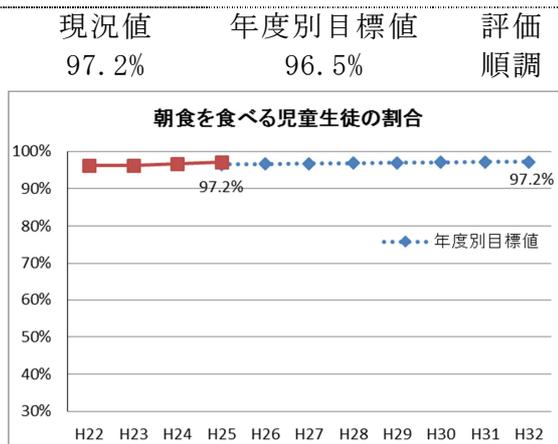
すべての対象において全国平均を下回っており、従前からの改善も見られないため。

②今後の取組

原発事故発生後、放射線による健康被害への不安から屋外活動を制限する時期があり、運動不足が影響していると考えられる。今後も本県独自の「運動身体づくりプログラム」の普及などを通じて、運動の質や量を確保していく。

・指標 2

朝食を食べる児童生徒の割合（公立幼・小・中・高・特別支援学校）



①評価の理由

現況値が目標値を上回っており、高い水準で推移しているため。

②今後の取組

今後とも家庭、地域、関係機関の連携のもと教育活動全体を通して食育を推進していく。